

日本産業衛生学会 近畿地方会ニュース

発行所 日本産業衛生学会近畿地方会
〒 641-0011 和歌山市三葛 580 番地
和歌山県立医科大学保健看護学部内
専用 FAX 番号：050-3737-1042
発行責任者・森岡郁晴（地方会会長）
<http://jsoh-kinki.jp>

第 66 回日本産業衛生学会近畿地方会総会および学術講演会

日 時：平成 30 年 6 月 16 日（土） 13：00～17：00

場 所：大阪市立大学医学部学舎 4 階大講義室

《プログラム》

13：00～14：00 近畿地方会総会

14：00～17：00 学術講演会
（特別講演、シンポジウム）

－学術講演会－

テーマ：産業保健活動における法的諸問題

近年、産業保健現場では、メンタルヘルス対策、過重労働対策（長時間労働対策・健診後の事後措置・メタボ対策など）を中心に、化学物質対策、腰痛・熱中症対策、受動喫煙防止対策などが実施されてきました。また国も多くの法・省令の改正や通達などを発信し方向性を示してきました。さらにはストレスチェック制度、治療と仕事の両立支援制度を定め、また働き方改革に向けて法案を整備中です。一方、わが国は少子高齢化に伴う生産年齢人口が減少していく中、職域では今まで経験した事のない時代を迎えようとしています。このような変化のスピードに、国の法律も産業保健現場の対策も必ずしも追いついていないのが現状かと思われます。

本学術講演会では、産業保健活動に必要な法的諸問題について討議を深め、最近の労働判例の傾向や対策についての知識も体得して頂きたい、今回の特別講演とシンポジウムを企画しました。

特別講演では、山田弁護士から、「働き方改革における産業保健活動と法的諸問題」についてご講演いただきます。引き続きシンポジウムでは、産業医、産業看護のそれぞれの立場から、産業保健現場での法的課題や疑問点について話題提供をいただき、最後に山田弁護士を含めて総合討論を行いたいと思います。演者並びに座長の労をおとりいただく先生方を含め皆様のご協力に感謝申し上げます。

会員皆様のご積極的なご参加をお待ち申し上げております。

＜特別講演＞（14：00～15：30）

座長：阪神労働衛生コンサルタント事務所 廣部一彦

「働き方改革における産業保健活動と法的諸問題」

演者：山田総合法律事務所 所長 山田長伸

＜シンポジウム＞（15：30～17：00）

「職域産業保健活動と法的課題・疑問点～これでいいのだろうか？～」

座長：パナソニック健康保険組合

健康管理センター

伊藤正人

Harmony～Life&Work

藤吉奈央子

シンポジスト：

1) 産業医の立場から

森本産業医事務所 代表

森本英樹

2) 産業看護職の立場から

積水化学工業株式会社人事部

健康推進室 保健師

荒木郁乃

3) 総合討論

山田長伸（コメンテーター）

森本英樹

荒木郁乃

＜参加費＞

日本産業衛生学会（産衛学会）員：無料

産衛学会員で日医認定産業医単位希望者：3,000 円

非産衛学会員：2,000 円

非産衛学会員で日医認定産業医単位希望者：5,000 円

＜単位申請＞

・日本医師会産業医認定単位：生涯（専門 3 単位）申請中

・日本産業衛生学会産業保健看護専門家制度研修単位申請中

第 66 回近畿地方会総会および学術講演会

特別講演・シンポジウム申込要領

【参加費】

日本産業衛生学会（産衛学会）員：無料
産衛学会員で日医認定産業医単位希望者：3,000 円
非産衛学会員：2,000 円
非産衛学会員で日医認定産業医単位希望者：5,000 円

【定員】

定員は 250 名で、事前申込者を優先いたします。
事前申込のない場合、お待ちいただいても満席でご参加
いただけないことがあります。

【申し込み方法】

ホームページまたは FAX。申込用紙はホームページを
ご覧いただくか事務局（FAX 050-3737-1042）より申込
書をお取り寄せてください。
スマートフォン・タブレットからも参加申込が可能です。
QR コードリーダーで読み取ってください。

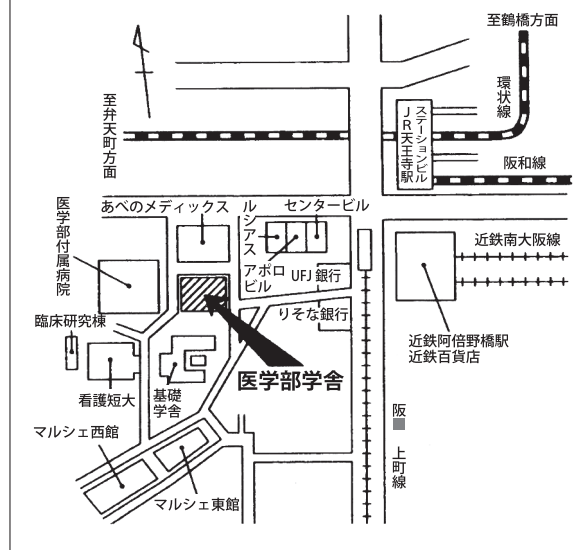


【受け付け開始】

5 月 15 日（金）0 時から開始し、定員（250 名）になり
次第締め切ります。

【諾否の連絡】

受講票の発送をもって受講可の回答とし、お断り（定員
超過）の場合は FAX でご連絡します。
受講票の再発行はいたしませんので大切に保管し、紛失
しないようにご注意ください。
受講票が 6 月 8 日（金）になっても到着しない場合はお手
数ですが、事務局（06-6123-7525）までご連絡ください。

地方会総会会場
大阪市立大学医学部学舎案内図

■代議員の皆さまへ

総会の前に代議員会を開催いたします。
代議員の方はご出席ください。

時間：12：00～12：50

場所：大阪市立大学医学部学舎 4 階 中講義室 1

◎本ニュースに同封の「総会および代議員会出欠確認」
用のハガキを 5 月 30 日（水）必着でご返送ください。
昼食の準備はしておりませんので、予め済ませてご来場
ください。

■幹事の皆さまへ

幹事会を開催いたしますのでご予約おきください。

時間：10：50～12：00

場所：大阪市立大学医学部学舎 4 階 中講義室 1

謹 告

本年は本部及び地方会役員選挙の年です。

平成 29、30 年度の日本産業衛生学会年会費（1 万円／年）が 7 月 27 日（金）までに
納入されていなければ選挙権・被選挙権が失効します。ご注意ください。

平成 29 年度近畿地方会収支報告および平成 30 年度予算（案）

1. 収入の部

科 目	29 年度予算額	29 年度決算額	30 年度予算額	摘 要
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	40,000	447,500	400,000	
協賛金等収益	0		0	
参加登録料収益	40,000	447,500	400,000	総会特別講演等当日参加費
受取補助金等	1,890,000	1,985,982	2,000,000	
受取本部助成金	1,890,000	1,985,982	2,000,000	1,500 円×1,333 人
受取負担金	2,000,000	2,070,000	2,000,000	
受取活動費	2,000,000	2,070,000	2,000,000	2,000 円×1,056 人
雑収益	3,300	32	200	
受取利息	300	32	200	
雑収益	3,000	0	0	
経常収益計	3,933,300	4,503,514	4,400,200	

2. 支出の部

科 目	29 年度予算額	29 年度決算額	30 年度予算額	摘 要
事 業 費	3,360,000	3,853,523	4,350,000	
臨時雇賃金	100,000	30,000	60,000	第 65 回特別講演・シンポジウム受付
会場費	180,000	141,233	150,000	第 65 回特別講演・シンポジウム会場費
旅費交通費	10,000	0	10,000	
通信運搬費	20,000	13,032	20,000	
印刷製本費	50,000	167,216	120,000	
懇親会費	0	0	0	
消耗品費	10,000	6,368	10,000	
機関紙印刷費	550,000	570,240	700,000	地方会ニュース印刷費
機関紙編集費	100,000	0	0	地方会ニュース編集費
機関紙発送費	550,000	470,579	600,000	地方会ニュース発送費
研究費	100,000	67,908	100,000	
諸謝金	100,000	65,000	100,000	第 65 回特別講演・シンポジウム講師謝金等
学会助成金	0	0	0	
協議会助成金	0	0	0	
大会研修会助成金	500,000	617,597	500,000	近畿産業衛生学会助成金
部会助成金	450,000	200,000	450,000	150,000 円×3 部会
研究会費	100,000	100,000	100,000	50,000 円×2 研究会
委託費	160,000	1,024,000	1,050,000	地方会ニュース発送に係る委託費を事業費に計上
開発保守費	370,000	370,000	370,000	HP 関連
雑 費	10,000	10,350	10,000	振込手数料等
管 理 費	1,430,000	804,049	1,249,600	
給料手当	0	0	0	
理事幹事会費	150,000	229,414	250,000	
旅費交通費	100,000	74,700	100,000	
通信運搬費	10,000	43,607	40,000	
役員改選費	400,000	18,856	400,000	
印刷製本費	0	64,962	60,000	
消耗品費	10,000	0	10,000	
委託費	740,000	369,600	369,600	
雑 費	20,000	2,910	20,000	振込手数料・残高証明書発行手数料等
経常費用計	4,790,000	4,657,572	5,599,600	
当期一般正味財産増減額	-856,700	-154,058	-1,199,400	
一般正味財産期首残高	5,093,330	5,093,330	4,939,272	
一般正味財産期末残高	4,236,630	4,939,272		

平成 29 年度事業報告

1. 第 65 回近畿地方会総会および学術講演会

日時：平成 29 年 6 月 17 日（土）

場所：大阪府医師会館

I. 地方会総会（13：00～13：50）

II. 学術講演会

1) 特別講演（14：00～15：00）

「ストレスチェック実施から 1 年が経過して」

座長：廣部一彦（（有）阪神労働衛生コンサルタント）

演者：寺村晃久（大阪産業保健総合支援センター）

2) シンポジウム（15：00～17：00）

座長：森山和郎（パナソニック（株）AIS 社
西門真健康管理室）

村田理絵（京都工場保健会）

専属産業医の立場から：

山田達治（京セラ（株）本社）

嘱託産業医の立場から：

上田伸治（ユーサイキア株式会社）

保健師の立場から：

塩崎万起（和歌山県警察本部 厚生課健
康管理対策室）

精神科医師の立場から：

岩崎進一（大阪市立大学大学院医学研究
科 神経精神医学）

参加者：187 名

2. 第 57 回近畿産業衛生学会

日時：平成 29 年 11 月 18 日（土）

場所：奈良県文化会館

学会長：田村猛夏（国立病院機構奈良医療センター）

I. 一般講演

II. 教育講演

「産業衛生上問題となる感染症とその対策」

「職場のメンタルヘルス」

III. ランチョンセミナー

「睡眠時無呼吸の社会的影響と管理について」

「日常診療において気になる石綿関連疾患」

IV. 特別講演

「職場の喫煙対策最新情報～受動喫煙防止から新
型タバコまで」

座長：車谷典男（奈良県立医科大学医学部）

演者：高橋裕子（京都大学大学院医学研究科
・社会健康医学）

V. シンポジウム

「奈良県における石綿関連疾患の現状と今後」

座長：畠山雅行（東京都結核予防会顧問 奈良
県立医科大学放射線医学教室
労働衛生コンサルタント）

シンポジスト：

田村猛夏（国立病院機構奈良医療センター）

筒井宏子（奈良県医療政策部保健予防課）

徳山 猛（済生会中和病院）

参加者：123 名

3. 代議員会

第 1 回 平成 29 年 6 月 17 日（土）

大阪府医師会館

第 2 回 平成 29 年 11 月 18 日（土）

奈良県文化会館

4. 幹事会

第 1 回 平成 29 年 6 月 17 日（土）

大阪府医師会館

第 2 回 平成 29 年 9 月 27 日（水）

あべの貸会議室リンク大阪

第 3 回 平成 29 年 11 月 18 日（土）

奈良県文化会館

第 4 回 平成 30 年 2 月 28 日（水）

あべの貸会議室リンク大阪

5. 広報活動

近畿地方会ニュースを年 4 回（110 号～113 号）発
行。地方会ホームページを随時更新し、地方会会員
に迅速に情報を提供する。

6. 近畿産業医部会

(1) 第 22 回近畿産業医部会研修会

日時：平成 29 年 9 月 2 日（土）

会場：大阪市立大学医学部学舎 4 階大講義室

テーマ

「産業医のための過重労働対策」

基調講演

「過重労働による健康影響に関する最新のエビデ
ンス」

講師：宮崎洋介（産業医科大学ストレス関連疾
患予防センター）

シンポジウム

「過重労働による健康障害を防ぐには」

シンポジスト：

山田達治（産業医科大学・京セラ株式会
社）

梶原隆芳（産業医科大学・株式会社梶原
産業医事務所）

和泉弘人（産業医科大学産業生態科学研
究所呼吸病態学研究室）

コメンテーター：

宮崎洋介（産業医科大学ストレス関連疾
患予防センター）

参加者：123 名

(2) 幹事会：年2回

- 第1回幹事会 平成29年9月2日(土)
大阪市立大学医学部学舎
- 第2回幹事会 平成30年2月16日(金)
CIVI研修センター 新大阪東

7. 近畿産業看護部会

(1) 定例研修会

第1回

日時：平成29年7月22日(土) 13:30~16:30
会場：マイドームおおさか

- ① 第1回産業看護職交流会
- ② 「学会発表って、ハードルが高い？研究のはじめ方 学会発表とは」

講師：巽 あさみ(浜松医科大学医学部看護学科
地域看護学講座)

参加者：60名(産業看護職交流会36名)

第2回

日時：平成30年1月20日(土) 13:30~16:50
会場：エル・おおさか 南館

- ① 「LGBTとハラスメントについて学ぶ～産業看護職としてどのような対応ができますか？～」
- 講師：三木 啓子(アトリエエム株式会社)

- ② 「産業保健看護専門家制度を踏まえた継続教育について～産業保健をめぐる動向と継続教育の在り方～」

講師：五十嵐千代(日本産業衛生学会産業看護部会)

参加者：63名

(2) 幹事会：年4回

- 第1回幹事会 平成29年4月22日(土)
- 第2回幹事会 平成29年7月22日(土)
- 第3回幹事会 平成29年11月28日(火)
リーダー会議
- 第4回幹事会 平成30年1月20日(土)

8. 近畿産業衛生技術部会

日時：平成30年1月20日(土) 13:30~16:30

会場：ハービス ENT 貸会議室

テーマ「慢性腰痛と転倒災害」

「新たな視点に立った職場の腰痛・肩こり対策」

講師：松平 浩(東京大学医学部附属病院22世紀医療センター運動器疼痛メディカル
リサーチ&マネジメント講座)

「労働者の運動機能から転倒リスクは予測できるのか？」

講師：大西明宏(労働安全衛生総合研究所)

参加者：32名

9. 研究会活動

(1) 産業精神衛生研究会

第1回

日時：平成29年6月29日(金) 18:30~21:00
「ストレスチェックの課題と活用を考える～高ストレス者の『産業看護職や医師面接の法的問題点』」
参加者：116名

第2回

日時：平成29年11月29日(水) 18:30~21:00
「電通やワタミを教訓に、いま求められている“リスク”をなくすメンタルヘルス対応の実践」
参加者：60名

(2) 職業性筋骨格系障害研究会(大学・部会・研究会の連携プロジェクトと共催)

日時：平成30年1月20日(土) 13:30~15:30
会場：滋賀医科大学社会医学講座(衛生学)
基礎棟6階

参加者：17名

10. 第7回近畿産業衛生学会優秀演題賞の選考

「ビデオばく露モニタリングによる化学物質のばく露状況の把握について」

宮内祐介(中央労働災害防止協会大阪労働衛生総合センター 分析測定室)

11. 大学・部会・研究会の連携プロジェクト

第1回 研究室訪問

大阪大学大学院医学系研究科社会医学I講座公衆衛生学(磯 博康 教授)

日時：平成29年11月17日(金)
午後4時半~6時半

会場：大阪大学銀杏会館 大会議室

参加者：18名

第2回 研究室訪問(職業性筋骨格系障害研究会と共催)

滋賀医科大学 社会医学講座(衛生学)(埴田和史准教授)

日時：平成30年1月20日(土)

午後1時半~3時半

会場：滋賀医科大学社会医学講座(衛生学)

基礎棟6階

参加者：17名

第3回 研究室訪問

和歌山大学医学部 衛生学教室(宮下和久 教授)

日時：平成30年2月10日(土) 午後2時~4時

会場：和歌山県立医科大学医学部衛生学教室 研究棟9階北側

参加者：11名

(本文中敬称略)

平成 30 年度事業計画 (案)

1. 第 66 回近畿地方会総会および学術講演会

日時：平成 30 年 6 月 16 日 (土)

場所：大阪市立大学医学部学舎 4 階大講義室

I. 地方会総会

II. 学術講演会

2. 第 58 回近畿産業衛生学会

日時：平成 30 年 11 月 10 日 (土)

場所：和歌山県 JA ビル

学会長：岩根幹能 (新日鐵住金和歌山製鐵所・NS
メディカル・ヘルスケアサービス)

I. 一般講演

II. 特別講演

III. シンポジウム

3. 代議員会

第 1 回 平成 30 年 6 月 16 日 (土)

大阪市立大学医学部学舎 4 階大講義室

第 2 回 平成 30 年 11 月 10 日 (土)

和歌山県 JA ビル

4. 幹事会

第 1 回 平成 30 年 6 月 16 日 (土)

大阪市立大学医学部学舎 4 階大講義室

第 2 回 平成 30 年 9 月

大阪市内貸会議室

第 3 回 平成 30 年 11 月 10 日 (土)

和歌山県 JA ビル

第 4 回 平成 31 年 2 月

大阪市内貸会議室

5. 広報活動

近畿地方会ニュースを年 4 回 (114 号～117 号) 発行予定。

地方会ホームページを随時更新し、地方会会員に迅速に情報を提供する。

6. 近畿産業医部会

(1) 第 23 回近畿産業医部会研修会

平成 30 年 9 月 29 日 (土)

(2) 幹事会：年 2 回を予定

7. 近畿産業看護部会

(1) 定例研修会：年 2 回を予定

第一回 平成 30 年 6 月 23 日 (土)

(2) 幹事会：年 4 回を予定

8. 近畿産業衛生技術部会

(1) 研修会：年 1 回を予定

(2) 幹事会：年 1 回を予定

9. 研究会活動

(1) 産業精神衛生研究会：年 2 回開催予定

(2) 職業性筋骨格系障害研究会：年 1 回開催予定

10. 近畿産業衛生学会優秀演題賞の選考

11. 大学・部会・研究会の連携プロジェクト

研究室訪問：年 3 回開催予定

近畿地方会平成 29 年度第 4 回幹事会

日時：平成 30 年 2 月 28 日 (水) 18:30～20:30

会場：あべの貸会議室リンク大阪

出席：森岡・中西・井上・圓藤 (吟)・久保田・鈴木・廣部・
大脇・日高・伊藤・上原・圓藤 (陽)・佐藤・鯨島・
堤・濱田・藤岡・村田・田村・岩根

欠席：清原・竹下・豊川・藤吉・丸山・森口

(順不同・敬称略)

1. 審議

1) 平成 29 年度事業報告 (案) → 4 ページ参照

資料に基づき森岡地方会長から報告があり、承認された。

2) 平成 29 年度決算報告 (案) → 3 ページ参照

資料に基づき中西副会長から報告があり、承認された。

3) 平成 30 年度事業計画 (案) → 6 ページ参照

資料に基づき森岡地方会長から報告があり、承認された。

4) 平成 30 年度予算 (案) → 3 ページ参照

資料に基づき中西副会長から報告があり、承認された。

2. 報告

1) 大学・部会・研究会の連携プロジェクト

久保田理事から報告があった。

2) 第 66 回近畿地方会総会の特別講演・シンポジウム

廣部理事から報告があった。

3) 第 58 回近畿産業衛生学会の進捗状況

岩根会長から報告があった。

4) 選挙管理委員会の選出・細則の改正

佐藤選挙管理委員よりオンライン投票に係る細則の改正について報告があった。

5) 地方会ニュースの発行状況と HP 更新状況

藤岡広報担当幹事から、地方会ニュースの発行状況および HP アクセス件数・更新回数について報告があった。

6) 本部理事会の報告

圓藤本部理事長から説明があった。

7) その他

次回の幹事会は、6 月 16 日 (土) 10 時 50 分から、大阪市立大学医学部学舎 4 階中講義室で開催予定。

近畿産業衛生学会開催地について、現在 2 府 4 県で順番に開催しているが会員数に応じ、大阪府での開催を増やす案が提案され、幹事会・代議員会・総会にて継続審議することとした。

日本産業衛生学会近畿地方会選挙細則（2017 年 11 月改正）

第1条 日本産業衛生学会定款第8条ならびに第26条による「役員の選任に関する細則」、「代議員の選任に関する細則」、「地方会に関する細則」、「選挙管理委員会に関する細則」、及び近畿地方会会則第8条に基づき、地方会会長（以下「会長」という）、理事**候補者**、代議員、地方会監事（以下「監事」という）を選出するため本細則を定める。

第2条 会長、代議員、監事の選任に関する選挙資格・被選挙資格は「代議員の選任に関する細則」第2条が定める地方会会員に限られる。

第3条 会長、代議員、監事選出の方法と定数

1. 会長、監事選挙については、立候補もしくは本人の承諾を得て推薦され、**近畿**地方会選挙管理委員会が作成した被選挙人名簿による。
2. 代議員選挙については、選挙管理委員会が作成した被選挙人名簿による。
3. 会長、監事、代議員の投票は、**電子投票システムにより行う**。
4. 会長については1名まで投票できる。
5. 代議員の定数は「代議員の選任に関する細則」第5条第1項の定めるところによる。代議員については**10名**まで投票できる。
6. 監事については2名まで投票できる。期間内に届け出た候補が定数以内の場合、その候補は無投票当選とする。不足の人員について公募延長とする。
7. 当選の決定は得票順に定数までとする。
8. 得票が同数の場合、地方会選挙管理委員会がくじにより順位をつける。
9. 代議員選挙において、定数の外、得票順に若干の予備代議員を選任する。

第4条 理事**候補者**の選出の方法と定数

1. 理事**候補者**の定数は中央選挙管理委員会の定めるところによる。
2. **新しく選出された代議員は、互選により理事候補者を4名まで電子投票システムによる投票ができる。**定数が4名未満の場合は、定数まで投票できる。
3. 監事に決まった者は理事**候補者**には挙げない。
4. 理事**候補者**の当選の決定は得票順に定数までとし、以下得票順に若干の予備理事候補者を選任する。
5. 得票が同数の場合、地方会選挙管理委員会がくじにより順位をつける。
6. 理事**候補者**に選ばれた者が就任の辞退を申し出た場合は、次点の者を当選者とする。

第5条 選挙管理委員会

会長は、「選挙管理委員会に関する細則」第2条に

基づき、地方会選挙管理委員会委員として代議員から委嘱する。

地方会選挙管理委員会は中央選挙管理委員会と協力し、以下のことを行なう。

1. 本会選挙全般にわたる公正、民主的な管理運営
2. 選挙人・被選挙人資格の確認
3. 被選挙人名簿の作成、**発送**
4. **電子投票システムの整備**およびそれに関連する作業
5. 開票作業、当選人の決定
6. **会長ならびに中央選挙管理委員会への報告**、その他必要な事項

第6条 この細則の改廃は幹事会で行い、代議員会、総会に報告する。

附則

- 1 本改正細則は平成13年5月26日より実施するものとする。
- 2 本改正細則は平成16年5月29日より実施するものとする。
- 3 本改正細則は平成26年6月21日より実施するものとする。
- 4 本改正細則は平成28年6月11日より実施するものとする。
- 5 **本改正細則は平成29年11月18日に改正し、平成30年6月16日より実施するものとする。**

選挙細則の主な改正点とお願い

選挙制度担当幹事 圓藤吟史、竹下達也、豊川彰博、佐藤恭子

選挙細則の主な改正点は以下の通りです。

- 1) すでに実施している理事候補者選挙とともに、会長・監事・代議員選挙も2018年の選挙では電子投票で実施します。

- 2) 代議員選挙については、これまで20名以内連記で実施していましたが、10名以内連記に変更します。

掲載している改正後の選挙細則において、ゴシック体の部分が変更箇所です。

尚、電子投票においては、学会にメールアドレスを登録していただく必要があります。登録いただいている場合でもメールアドレスを最新のものに更新していただきますようお願いいたします。今一度、**日本産業衛生学会ホームページにて会員ログインしていただき、個人のプロフィール変更、とくにメールアドレスの登録・更新・確認をお願いいたします。**

『大学・部会・研究会の連携プロジェクト』研究会訪問

第2回 滋賀医科大学社会医学講座

今回は職業性筋骨格系研究会との合同開催でもあり、総勢 17 名と盛況に催された。埴田先生より、「労働衛生学研究の特徴は社会的要請と社会的還元であり、働く人たちが健やかな一生を過ごすために、労働の安全性や快適性を形にして、施策として社会的還元をする。」とお話があった。教室には企業と共同開発した 2 種類の椅子が社会的還元産物として置かれていた。その椅子は座ると背もたれが前に出て、座る人の背面を自動的にサポートする。もう 1 つの椅子は女性向けに開発されたもので、座面幅の工夫と、座位で下肢の温度が下がらないよう、座面の前方が下がることにより膝のうらが圧迫されにくい工夫がされていた。

北原先生からは病院における医療関係スタッフの腰痛予防の取り組みとして、自覚症状とその問題点を把握し、活動量・歩数・心拍数・上体角度・肩腰の筋電図という他覚的に裏付けられたデータから作業・作業環境の改善案をガイドラインに反映させるという仕事をご紹介いただいた。

第3回 和歌山県立医科大学医学部衛生学教室

宮下教授の教室は手腕系振動障害の研究、県下の地場産業における騒音・有機溶剤等に従事する労働者の健康管理、山梨医大との国際共同研究、精神保健領域である注意欠陥多動性障害（以下 ADHD）の疫学やパワーハラスメントの要因分析等と古典的な産業医学から、昨今のメンタルヘルス不調にかかわる産業医学まで多岐にわたる研究を行っている。

今回は 3 つの講義から構成されており、1 つ目は『職場におけるいじめ・暴力とその健康影響』というテーマだった。津野講師は大学時代の様々なアルバイトの経験から、営業職で数字が取れず上司からひどく叱責されていた従業員の姿を見て、研究テーマに選んだそうだ。今やハラスメントは精神障害の労災の要因としても非常に多くなっており、いじめを受けた人のみならず、周りの人への影響も大きく、産業保健でも見過ごせない。研究ではいじめと社会経済的要因に着目し、社会階層の低い労働者はいじめや暴力を受けやすく、暴力被害にあった場合、ホワイトカラーや学歴の高い人の方が抑うつリスクが高いことが示され、これは心理的準備ができていないからではないかと考察されていた。

2 つ目は竹村先生より林業や公務員を対象とした研究で『振動障害の現状と対策』について、教えていただいた。振動障害は昭和 53 年あたりがピークで、林業

また、辻村先生からは表面筋電図を用いた労働負担評価として、教室で開発された表面筋電図の電極をご紹介され、先生がモデルになった動画映像も交えながら、熱心にご説明くださった。脊髄損傷の人が座って左足をキーボードの高さまで上げてパソコン作業をしている事例が紹介された。この姿勢では、座面の右半分にのみ負担がかかり、挙上している左足の負担はもちろんのこと、長時間になれば腰痛も引き起こされる。座面にかかる左右の負荷バランスや表面筋電図を用いることによって問題点を数値で見える化し、キーボードを足元に置き、足元のキーボードをカメラで手元のサイドモニターに映し出すといった、作業改善がなされていた。

研究者の努力とアイデアが形となり、技術の進歩も相まって、医療測定機器がコンパクトになり、筋骨格系研究はさらに進めやすくなったということだった。我々の普段の産業医業務もこのような先生方の研究に支えられていることを痛感した。

から近年は建設業へとシフトし、年間 300～400 件と下げ止まりとなっているとのことだった。先生の研究は ISO13091 準拠装置による振動障害における末梢神経障害を診断するための評価基準の整備にも貢献されていた。

最後は『ADHD と環境要因』であった。吉益准教授はたばこをキーワードとして研究テーマを考えていた際に、妊娠中の喫煙と ADHD という関係性に着目された。ADHD もいじめ問題と同じく産業保健現場では、細やかな対応を求められる問題である。ADHD は遺伝要因が強いといわれているが、環境要因もあるとされている。この環境要因を①自然環境要因 ②社会環境要因の 2 つに分けて考え、ADHD を 1 次予防できないかと 10 余年研究されているとのことだった。

滋賀医科大学社会医学講座の皆様、和歌山県立医科大学医学部衛生学教室の皆様、お忙しいなかご準備いただき、ありがとうございました。

次回は、6 月 2 日（土）に兵庫医大公衆衛生学島正之教授の研究室訪問を予定しています。詳細はホームページでご確認ください。学会員の皆様のご参加をお待ちしています。

会員の声



日本産業衛生の国際的役割

大阪大学大学院人間科学研究科

小笠原 理恵

私は現在大学で国際保健と社会医学を軸に、多文化共生社会における保健医療のあり方について考えています。産業衛生の領域では新参加者です。縁あって昨年の6月から、大阪大学が推進する国際共同研究促進プログラムの一環で、国立台湾大学（NTU）との共同研究「仕事ストレスに対する政策研究—日本と台湾の比較研究—」（研究代表者：大谷順子）に携わっています。過重労働や仕事ストレスに起因する疾病、突然死や自殺などの問題は、台湾や韓国などの東アジア諸国でも同様の課題とされています。NTUの研究者と共同研究を進めていく中で、台湾には雇用者や医療従事者の中に、仕事ストレスに起因する諸問題に対する偏見が、根強く残っていることを感じます。台湾は産業衛生政策の多くを、日本の先例に学んでいるそうです。NTUの研究者は日本のストレスチェック制度に関心が高く、台湾での応用可能性について検討していました。しかし昨年の夏に来日し

日本の産業医と関係各位にインタビューする中で、この制度は、実際の労働環境の改善にはあまり効果的に作用していないことがわかりました。日本の産業衛生は、日本国内や日本企業で働く人たちの健康状態を守ることが第一義なのだと思います。しかし台湾をはじめ、世界には日本の産業衛生政策を先例として、日本の動向に注目している国々は少なくありません。

一方、海外で働く日本人の数も急増しています。私自身 2004 年から 2010 年まで中国上海市にある外資系の医療機関に勤務し、日本人を含む上海在住外国人の保健医療に従事してきました。海外では、母国と同様の保健医療サービスを受けるには限界があります。医療そのものは発展している先進国に駐在する場合でも、言葉や文化、医療システムの違いなど、問題は山積しています。日本の皆保険制度も一部払い戻し請求が可能になった程度で、ほとんど効力を発揮しません。

こうした状況を鑑みると、日本産業衛生に求められる国際的役割は今後ますます高まると思います。日本産業衛生学会における国際保健分野のさらなる発展を期待しています。NTU との共同研究もこれから発展していきます。ご関心のある方は、ぜひ一報ください。



センサで、化学物質による健康障害が激減することを願って

新コス干ス電機 (株)

中山 正樹

みなさまのご家庭の台所にはガス漏れ警報器が設置されていると思います。その家庭用ガス漏れ警報器を、当社は世界で初めて開発しました。1964年、前の東京オリンピックの年です。

当時はLPガス漏れ事故が多発していました。家庭用LPガス漏れ警報器が普及するにつれてLPガスでの爆発事故は激減しました。その後都市ガス用でも同様に、ガス漏れ警報器が普及するにつれて都市ガスでのガス爆発事故は激減しました。

ガス爆発事故が激減したように、私どものセンサ技術で化学物質による健康障害が激減できればと心より願っています。なかでも半導体式センサを用いた測定器は、使いやすく、価格が安いことが利点です。爆発性のガス漏れ検知だけでなく、化学物質測定にも役立つはずです。そこで気中の化学物質の検知・測定に便利なポータ

ブル型の VOC リアルタイムモニタ、日常的な個人ばく露の測定・管理に適した個人ばく露 VOC 濃度計、印刷現場の VOC 濃度が一定レベルに達するとメッセージでお知らせするオフセット印刷工場用 VOC 警報器、シリンジで少量の試料を打ち込むだけで低濃度域化学物質の定性・定量が可能なポータブル分析装置を開発しました。

しかしながら開発にあたっては、私どもの知らない現場の事情等が多く、また商品開発中に新たな課題にぶつかることもありました。その都度会員の皆さまからアドバイスをいただきながら開発をしてまいりました。

さらに労働現場における化学物質による健康障害を激減させるためには、安くて使い勝手の良い測定器がまだまだ必要だと思います。ですから「こんな測定器があったらいいな」というご意見や思い付きをいただければ有難いです。化学物質による健康障害を激減させるために、私どものセンサ技術でお役立てしたいと思っています。

新コスモス電機の本社は大阪の西端、淀川区三津屋にあります。本社には、ガスセンサの歴史と各種機器をご紹介しますショールームがあります。化学物質測定機器以外にも、軽量・小型の酸欠計や硫化水素計、各種毒性ガス測定器等も展示しております。どうぞお気軽にお立ち寄りくださいませ。

近畿産業看護部会研修会報告

「LGBT とハラスメントについて学ぶ」に参加して

オムロン（株）大阪事業所・健康相談室

北村 としこ



昨年1月、均等法の改正セクハラ指針が施行され、LGBT および性的少数者（以下 LGBT 他）も指針の対象になることが明文化されました。当社でも、就業規則に性的指向または性自認に関するハラスメントを禁止する項目が盛り込まれ、人権研修では LGBT 他に関する内容が含まれるなど、変化を身近に感じております。その中で産業看護職として何が求められているのか、知見を得たいと思い研修に参加させていただきました。

研修では、間にグループディスカッションを挟みながら、LGBT 他の方々の分類やハラスメントの状況について説明をいただき、基礎的な理解を深めることができました。

セクシャリティーの分類に関する説明では、LGBT の他に A（アセクシュアル：無性愛）や Q（クエスチョニング：自分でもセクシャリティーがわからない）など、様々なセクシャリティーが存在することを紹介した

だき、LGBT というのも多様なセクシャリティーの中の一つの代表的なものに過ぎないということを解説いただきました。

質疑応答では、健診時の対応について実際の相談事例をもとに質問が上がりました。対する回答は、一人一人望むことが異なるため当事者の希望に沿って対応して欲しいとのことでした。産業保健業務の中でも、健診での対応は特に想定されるケースかと思います。相談があったときに、どんな対応が可能なのかを考えておくことや、対応を望む方が声を上げやすい環境づくりが大切だと感じました。

研修の冒頭でも触れられていましたが、最近は TV ドラマ等で登場人物に設定されることも多く、LGBT 他の方々が身近な存在になってきていると感じます。しかし一方で、実社会の中では、婚姻制度やパスポートなどの身分証明など、戸籍上の性別が前提とされていることを考えると、多様なセクシャリティーが当たり前のこととして受け入れられるには、まだ社会全体が追いついていないのではないかという風にも感じます。今回の研修を通して、私自身もまだ理解の範囲には偏りがあり、未知のことも多いと感じました。引き続き、理解を深めていけるよう努めていきたいと思っています。このたびは、貴重な学びの機会を与えていただきありがとうございました。

産業精神衛生研究会の紹介

産業精神衛生研究会で吸収、職場に生かす!!

産業精神衛生研究会には毎回 60～130 名くらいの産業医や産業看護職、研究者、産業カウンセラーなどが多数参加され盛会です。当研究会の特徴を図に示しました。

新しいテーマや話題（第1回は参加者のアンケートで最も希望が多かったテーマ）を中心に開催しています。今年度の予定を下記に示します。

第1回 2018年6月20日水曜日・午後6時半から9時まで

ストレスチェックの「集団分析」の実際を中心に

基調講演：ダイハツ保健センター 統括産業医
三嶋正芳先生

産業看護職の立場から：警察庁厚生管理室
塩崎万起先生

会費：1,000 円 エル大阪南館 5 階ホール

第2回 2018年11月7日水曜日・午後6時半から9時まで

競争社会における中高年ドロップアウトタイプへの対応を中心に

基調講演：精神科医 夏目 誠先生

カウンセラーの立場から：協会支部キャリア・カウンセラー部長 三浦康子先生

人事労務の立場から：松浦博一（阪大教授、予定）先生
会費 1,000 円 エル大阪南館 5 階ホール

参加を期待しています。詳しくは地方会ホームページに、ご案内をいたします。

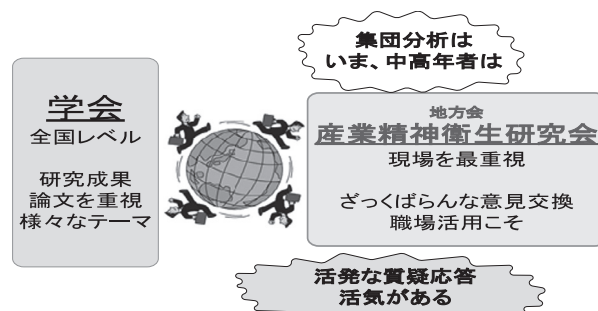


図 地方会産業精神衛生研究会の特徴

第23回産業医部会研修会のご案内

1. 日時：平成30年9月29日（土）14：00～17：10
2. 場所：大阪市立大学医学部学舎4階大講義室（大阪市阿倍野区旭町1-4-3）
3. 実行委員長：森山和郎
4. 内容

「2020年にむけて、がんばれ日本の職場のたばこ対策」

- (1) 基調講演「東京オリパラにむけて！職場のたばこ対策の展望」

座長：森山和郎（パナソニック（株）AIS社西門真健康管理室）

講師：中村正和（地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センターセンター長）

- (2) シンポジウム「がんばれ日本の職場のたばこ対策」

座長：中西一郎（東レ株式会社滋賀事業場健康管理センター）

シンポジスト：

今野由将（新日鐵住金（株）製鋼所）

「専属産業医の立場から」

和久純也（パナソニック健康保険組合）

「事業場の立場から」

鈴木美恵子（栗田工業（株））

「産業看護職の立場から」

コメンテーター：

中村正和（地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センターセンター長）

5. 研修単位：日本医師会認定産業医 生涯研修（専門）3単位（申請中）
6. 申込方法：後日ご案内いたします。

技術部会からのお知らせ

平成29年度の研修会は、平成30年1月20日（土）13：30～16：30に大阪駅前ハービスENTオフィスタワー9階にて日本医師会認定産業医生涯研修を兼ねて開催されました。テーマは「慢性腰痛と転倒災害」で、東京大学医学部附属病院22世紀医療センター運動器疼痛メディカルリサーチ&マネジメント講座長・特任教授松平浩先生からは、職場の腰痛・肩こり対策について実技を交えた解りやすいご講演をいただき、労働安全衛生総合研究所主任研究員・大西明宏先生からは、運動機能と転倒リスクとの関連についての研究結果をお話し戴きました。出席者は32名で、事例に基づく解りやすいご講演でしたので、活発な質疑応答がなされました。

平成30年度の研修会は5月12日（土）13：30～16：30に新コスモス電機株式会社トレーニングセンターにて「熱中症を知る！体感する！予防する！」をテーマに開催されました。京都女子大学名誉教授中井誠一先生に熱中症の歴史と最近の動向についてのご講演を戴き、熱中症の温熱環境体験ルームに入ってWBGT値（暑さ指数）の測定、および様々な予防グッズの紹介と解説が行われました。

平成30年度総会は平成30年11月10日（土）開催の第58回近畿産業衛生学会会場にて開催予定です。ご出席宜しくお願い致します。

近畿地方会技術部会長 圓藤 陽子

産業看護部会からのお知らせ

○2018年度 第1回定例研修会のご案内

日時：2018年6月23日（土）13時～16時30分予定

場所：エル・おおさか 南館10F

内容：[第一部] 産業看護職交流会

[第二部] 講演

テーマ「産業看護職のための保健指導 Up to Date～脳心疾患・過労死予防に健診結果をどう活かすか？～」

講師：廣部一彦先生（有限会社阪神労働衛生コンサルタント代表）

*最新情報は日本産業衛生学会近畿地方会 HPでご確認ください。

多くの方のご参加をお待ちしています。

○2018年産業看護部会本部研修のご案内

【基礎研修Bコース】

日時：2018年8月30日（木）～9月1日（土）開催予定

「産業保健看護専門家登録者試験」合格者向けの集中研修「基礎研修Bコース」が予定されています。Aコース、Bコースで合計50単位取得できる研修です。（Aコースは2019年8月開催予定）すでに登録者の方で早めに単位取得完了したい方や新人研修等としても受講可能です。

【登録者認定試験準備講座】

日時：2018年11月10日（土）開催予定

産業保健看護専門家制度登録者認定試験受験者に向けた研修です。

上記研修の詳細は産業看護部会本部 HPでご確認ください。

○近畿産業看護部会新幹事体制のお知らせ

幹事の交代により、4月から新体制になりました。新幹事体制については、近畿地方会 HPをご覧ください。

近畿地方会 HP URL: <http://jsoh-kinki.jp/kinki-002/>

看護部会本部 HP URL: <http://sangyo-kango.org/wp/>

日本産業衛生学会と日本動脈硬化学会 の合同シンポジウム開催 (7/14)

第50回日本動脈硬化学会総会(2018/7/12-14)のサテライトセッションにて、両学会合同シンポジウムが次の要領で開催されます。ぜひ多くの方のご参加をお待ちしております。

日時: 2018年7月14日(土) 15時15分～17時15分

場所: 大阪国際交流センター 大ホール

参加費: 医師 3,000円(日医認定産業医 生涯研修2単位申請中)

保健師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師等 1,000円

テーマ: 「働く世代の動脈硬化性疾患(脳・心疾患、過労死) 制圧に向けて」

座長: 批榔貞利(日本動脈硬化学会)、廣部一彦(日本産業衛生学会)

シンポジスト: 土肥誠太郎(三井化学)、大和 浩(産業医大)、岡村智教(慶応大学)、増田大作(阪大循環器内科)

主催: 日本動脈硬化学会、共催: 日本産業衛生学会、大阪府医師会、後援: 関西産研

申込み: 当日参加も可能です。第50回日本動脈硬化学会参加者は無料。



第58回近畿産業衛生学会のお知らせ(第一報)



新日鐵住金 和歌山製鐵所／
NS メディカル・ヘルスケアサービス

岩根 幹能

「和歌山はちょっと遠いけど、行きたいな!」と思ってもらえるよう、学会・懇親会ともに気合を入れて準備中です。

1 **日時:** 2018年11月10日(土)

2 **場所:** 和歌山県 JA ビル 2階 和ホール(JR和歌山駅中央改札口から徒歩2分)

3 **メインテーマ:** ダイバーシティ(多様性) & インクルージョン(内包)

4 **内容**(すべて仮題です)

1) 一般演題(口演): 締切り8月31日(金)、優秀演題賞・若手奨励賞を表彰

2) 教育講演: 新型タバコ製品時代の喫煙対策

3) ランチセミナー(予定): 従業員が急性冠症候群で入院したら

4) 基調講演: パーソナリティ障害の中核病理

5) シンポジウム: 基調講演に続き、事例検討を通して理解を深める

6) 企業展示(1階アグリテラス): 展示企業募集中

7) 懇親会: マグロ解体ショー(予定)、紀州地酒&果実酒の飲み比べ

5 **ホームページ:** <http://jsoh-kinki.jp/jsohkinki-58/>

6 **事務局:** 産業保健アシスト
(担当: 河村沙江子)



編集後記

国会審議の紛糾を受けて、安倍晋三首相は働き方改革関連法案の4本柱のうち「裁量労働制の拡大」を(当面)削除する方針を2月末に決めました。一方で「高度プロフェッショナル制度の創設」は残されて今国会での法案成立が目指されることになります。働き方改革の御旗のもとに長時間労働や過重労働がどのように形を変えて潜在化し、それに産業保健ス

タッフはどのように対応すべきか、法案の今後にも気になるところです。(清原 達也)

編集委員(50音順)

圓藤 陽子 清原 達也

鈴木 純子(担当理事)

藤岡 滋典(代表幹事)

藤吉奈央子 村田 理絵(代表幹事)